



大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

④ 人材育成 (地域ならではの特色をもった人材を育成する)



宮城大学
小沢晴司氏



徳島大学
山中英生氏



信州大学
末富雅之氏
(コーディネーター)

宮城大学の事例紹介



森に囲まれている

宮城大学



人材育成プログラム

① 各省庁等の人を招いた講演

経済



環境

- 例) 環境事務次官
- 経産省官房総務課長
- 東近江三方よし基金



参加する学生に俯瞰して



物事を見る力を



身につけてもらう!

② 東北地方の産業・機関からの報告

☑ ハブセメント

石灰の与える影響



☑ いわき勿来 IGCC



石炭の発電の効率性について

☑ 気仙沼商会

民有林の活用



⇒ 普段の授業では関われない
地域との関わりを学ぶ機会に



③ 東北の災害復興 現地フィールドワーク

景観と再生研究室

中間貯蔵施設



モネの砂浜

景観を保つ

取組みを促す

④ 森と水のキャンパス作り



人工林撫育 → カーボンニュートラル意識

宮城大学構内樹木の再生と活用

大学構内を最大限教育に活用する

林業に興味を有する企業とも連携



大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

④ 人材育成 (地域ならではの特色をもった人材を育成する)



徳島大学の事例

目標: 地域を担う
質の高い人材の育成

とくしま創生人材・企業共創プログラム

実践型インターンシップを重視

企業等の解決課題に学生が参加



チームで取り組むことで
コミュニケーション力を養う

学生に期待すること

☑ 広報力

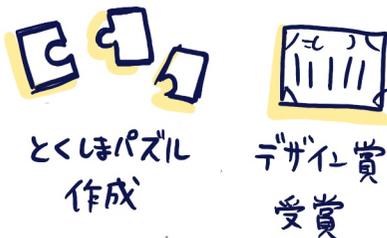
☑ 働き方に対する考え方

インターンシップ事例

☑ 木頭杉ブランド再成プロジェクト



☑ エヌ・アト・シー (株)



☑ ひとり親世帯への支援

カードプレイスづくりの提言
(居場所)

課題と展望

社会的要請: ESG・CN・SDGs etc.

地域課題: 人口減少・災害・産業活力

統合・活用できる人材ニーズ

☞ 大学がそのためにできることは?

育成すべき重要な要素

☑ ポータブルスキル

☑ コーディネート力

☑ 実践コミュニティ形成力

地元の経営者・起業家と

つながる学生が育ってきている



大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

④ 人材育成 (地域ならではの特色をもった人材を育成する)



宮城大学
小沢晴司氏



徳島大学
山中英生氏



信州大学
末富雅之氏
(コーディネーター)

～地域の企業・産業・社会の
魅力づくりに必要な人材とは～

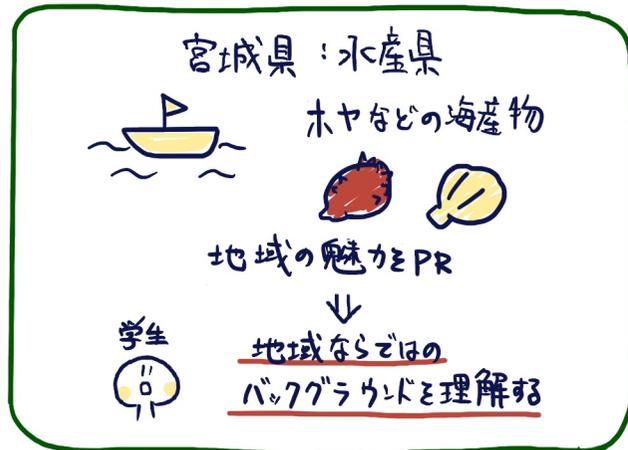
例えば

農協：若くて元気な人材不足

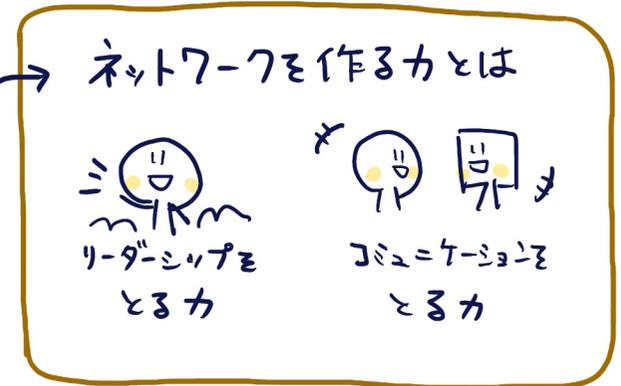
企業側 その課題に取り組みたい学生



～地域に必要な人材を輩出するための
地域ならではの人材育成とは～



専



① 何か解決したい課題に

こだわりがある学生



大学1年生から院生まで混じって
学習するプログラム

学生間同士の学び合い

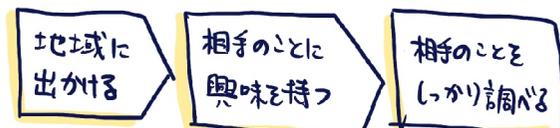


先生よりも近い立場からの
議論が深まる

うまくいけば

相互作用

学部を越えた人材育成



この流れが大事

地域の将来をイメージして

それを描けるようになる





大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

④ 人材育成 (地域ならではの特色をもった人材を育成する)



宮城大学
小沢晴司氏



徳島大学
山中英生氏



信州大学
末富雅之氏
(コーディネーター)

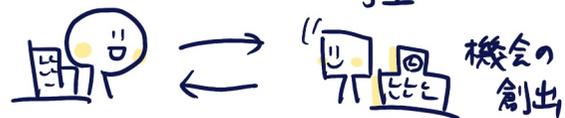
～ 人材輩出における大学の役割、
地域連携の在り方とは～

負の歴史、地域の魅力を知り、
理解しながらそれをPRできる人材育成



経営者のトップ層

学生



コミュニケーションの中で
学べるスキルを身に付ける

その中から
自己決定力も育む



Q&A

たくさん質問の
ワークショップ等 受入側でできることは?

インター等 真剣に学ぶに対して
根気よく付き合う

ワークショップの総括

企業との付き合い方

一対一でいいな
コミュニケーションを踏まえて
地域とつながる

地域につながる学生と
地域に根付く企業が
一体となって成長できる(合作!)

手法より地域課題を
テーマとしたプログラムこそ、
地域ならではの人材育成につながる

大学が学生と企業をつなぐ

ハブとなってつながることが大事

